

# きもの豆知識

## 紬糸とは

10月号で触れた生糸は色無地、訪問着、留袖、小紋、振袖などのいわゆる礼装用の着物で使われる糸で、均一なムラのない仕上がりが特徴ですが、これとは対照的に紬に使われる紬糸は製法や歴史が全く異なっています。

紬用に使われる紬糸は、生糸を引き出せない品質のくず繭をつぶして真綿にし、真綿より糸を紡ぎだしたつくられます。くず繭には、玉繭、穴あき繭、汚染繭が含まれ、紬糸は手で撚りをかけるため太さが均一ではなく、玉繭から作られる糸は2本の糸が複雑に絡まっており、節の多い糸になる。これを玉糸や節糸ともいいます。

※玉繭とは、2頭以上の蚕が一つの繭を作ったものをいう。



これらの糸を使って平織したものを紬といいますが。最近では生産性の向上のため経糸(たていと)は生糸、緯糸(よこいと)に紬糸を使うことが多く、純粋に紬糸を経糸、緯糸ともに使っているのは結城紬ぐらいといわれています。

紬は耐久性に非常に優れ、古くから日常の衣料や野良着として用いられ、父から子へと数代に渡って着繫がれた。しかし、織りたてでは生地が硬く着心地がよくないため、裕福な商人は番頭などに自分の紬を着せて柔らかくなった所で自分で着用したという話もあります。

江戸期に贅沢禁止令が出された折に、高価な絹物を着ることが禁止された。しかし富裕な町人たちは絹を着ることを諦めずに「遠目からは木綿に見える」ということで工夫され、絹であるのに木綿と言い張って着ることができるようになるようにと好んで着るようになったという説もあるようです。

# 歌舞伎のススメ

～八代目中村芝翫(なかむらしかん)～

最近歌舞伎界で時の人といえば、先日不倫騒動など何かと話題の中村芝翫(なかむらしかん)さん。奥さんは言わずと知れた三田寛子さん。屋号は『成駒屋(なりこまや)』。

かつては中村福助→中村芝翫→中村歌右衛門と歌右衛門名跡の前名でしたが、七代目芝翫(八代目の父)が終身中村芝翫として人間国宝になったため、以後は歌右衛門と芝翫は系統がわかれたそうです。

このたび、家族4人同時襲名ということでとても話題になっていますが、4人同時襲名というのは史上初だそうです。

- 中村橋之助さん → 芝翫(しかん)
- 中村国生さん → 橋之助(はしのすけ)
- 中村宗生さん → 福之助(ふくのすけ)
- 中村宜生さん → 歌之助(うたのすけ)

先日の襲名披露興行では尾上菊五郎さんに『新芝翫さん、今までのようにキョロキョロとしているわけには行きませんよ。』といじられていましたが、偉大な父を超えるようキョロキョロせず精進していてくれることと思います。



# いよいよカフェをオープンいたします。



直前になって、当初考えていた『霞中庵(かちゅうあん)』という名前を使えないことが判明しまして、家族会議の結果

『TAKEJIRO CAFE』となりました。

『えっ、たけじろうかふえ』と思われた方、そうだと思います。うちの子供も違う名前にしたらと言いました。でもインパクトあるとは思いませんか？実はカフェをやる建物を建てたのは河内屋初代の『大橋竹次郎(たけじろう)』にちなんで、この名前を付けました。一度聞いたら忘れないこの名前を皆さん宣伝してくださいね。

## 『TAKEJIRO CAFE』

- コーヒー 500円
- カプチーノ 600円
- 抹茶ラテ 600円
- 抹茶セット 700円

カフェ開催期間 11月23日(水)～28日(月)  
12月22日(木)～26日(月)

開催期間以外は営業しておりませんのでお間違えの無いように！

# 草木染講習会

日時 11月16日(1回目)  
午前の部 9:30～午後の部 13:00～

12月14日(2回目)  
午前の部 9:30～午後の部 13:00～

会費 1,000円(1回につき) + 材料費

用意するもの：厚手のゴム手袋、エプロン



## 2回コース

- 11月16日 濃淡染め
- 12月14日 型染め

来年の干支 ニワトリのタペストリーを2回にわたって作ります。

## 草履・下駄はありますか？

### 履物の調整

1足 500円



# イベント案内

ギャラリーカフェ

## 『TAKEJIRO CAFE』

11月23日(水)～28日(月)

展示品目：藍染めの服・くつ・印伝・型絵染

## 年末大処分市

12月10日(土)～12日(月)